

令和 4年度 5月分 工事請負変更契約状況表

(単位：円)

(上水・工水・下水会計)

担当課 工事番号	契約年月日	工事名	契約の相手方	設計金額	請負代金額	請負代金額の増減	当月分の増減	工期	契約期間	備 考
下水道建設課 20000055	R3. 1. 26	中央処理区支線工事その5	株式会社合同興業 和歌山支店 大嶋 廣士	118,256,600	100,864,800			420	R3. 1. 27 R4. 3. 22	
	R4. 3. 17							536	R3. 1. 27 R4. 7. 16	
	R4. 5. 16							11,093,200	536	
管路整備課 21000008	R3. 7. 2	六番丁配水管布設工事	木下建設株式会社 木下 匡史	94,199,600	85,398,585			272	R3. 7. 3 R4. 3. 31	
	R4. 3. 16							363	R3. 7. 3 R4. 6. 30	
	R4. 5. 16							662,115	363	
管路整備課 21000013	R3. 7. 28	和田～吉原配水管布設替工事	株式会社三愛基礎工業 室家 悌二郎	137,742,000	119,681,350			246	R3. 7. 29 R4. 3. 31	
	R4. 3. 31							307	R3. 7. 29 R4. 5. 31	
	R4. 5. 26							1,423,150	307	
管路整備課 21000016	R3. 8. 2	屋形町1丁目～六番丁配水管改良工事	株式会社中澤工業 中澤 伸悟	204,523,000	177,015,071			241	R3. 8. 3 R4. 3. 31	
	R4. 3. 24							302	R3. 8. 3 R4. 5. 31	
	R4. 5. 27							15,308,929	302	
下水道建設課 21000037	R3. 9. 15	杭ノ瀬川第2排水区支線工事	株式会社松原造園土木 和歌山本社 西村 信次	54,959,300	49,801,492			180	R3. 9. 16 R4. 3. 14	
	R4. 3. 3							227	R3. 9. 16 R4. 4. 30	
	R4. 4. 25							257	R3. 9. 16 R4. 5. 30	
	R4. 5. 13							2,111,908	257	

年 度	令和2年度
工 事 番 号	第 20000055 号
工 事 名	中央処理区支線工事その5
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	<p>(汚水) φ200mmVP 管推進工 低耐荷力圧入二工程方式 L=177.7m φ200mmVU 鞘管ホーリング推進工 (400mm) L=9.05m φ200mmVU 管布設工 L=750.1m マンホール工 (2号-1,1号-12、楢田-10、小型塩ビ-2) 25か所 取付管およびます工 39か所 付帯工 1式</p> <p>(雨水) φ400mmVU管布設工 L=65.1m φ350mmVU管布設工 L=17.4m φ200mmVU管布設工 L=11.5m マンホール工 (1号-4) 4か所 付帯工 1式 水道管移設工 1式 整備面積 (分流・汚水) A=3.95ha 整備面積 (分流・雨水) A=0.74ha</p>
変 更 の 理 由	<p>・ 推進路線 (653-2路線) において、コンクリート構造物が確認され、当初設計工法の低耐荷力圧入二工程方式では施工不可となったため、φ2000ケーシング立坑を追加し、鋼製さや管推進工法への変更</p> <p>・ 試験掘の結果、設計水位より地下水位が高かったため、ウェルポイント工の追加</p> <p>以上の理由により、建設工事請負契約書第18条第1項第4号に基づき精査した結果、同契約書第18条第4項第2号に該当すると認められるため、同条第5項を適用し、増額変更するものである。</p>

年 度	令和 3 年度
工 事 番 号	第 21000008 号
工 事 名	六番丁配水管布設工事
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	<p>φ500 SP (鋼管鞘管推進工法) 推進工 L= 56.0m φ400mm DIP PN形 管布設工 L= 60.4m φ400mm DIP GX形 管布設工 L= 31.8m</p>
変更の理由	<p>本工事において、次のとおり設計変更となります。</p> <p>No.3 到達立坑をライナープレート式立坑から鋼製ケーシング式立坑へ工法を変更したことによる、立坑工の増工及び補助地盤改良工の減工。</p> <p>地下埋設物管理者との施工前協議により、推進区間に鋼矢板が残置されている事が判明したため、障害物探査(水平チェックボーリング)を追加計上したことによる地下埋設物調査工の増工。</p> <p>以上の理由により、工事請負契約書第18条第1項第4号に基づき精査した結果、同契約書第18条第4項第2号に該当すると認められるため、同条第5項及び第25条により増額変更いたしたい。</p>

年 度	令和 3年度
工 事 番 号	第21000013号
工 事 名	和田～吉原配水管布設替工事
変更後の工事場所	和歌山市和田地内から吉原地内まで
変更後の工事概要	φ200mm DIP GX形 L= 638.3m φ100mm DIP GX形 L= 26.2m 給水管切替工 55箇所 消火栓設置工 4箇所 既設管撤去工 1式 仮設配管工 1式
変更の理由	<p>本工事において、次のとおり設計変更となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・水路下越し部において、開削工法から簡易推進工法に変更したことによる、管布設工費の増額。・複数の地下埋設物を迂回するために異形管を追加したことによる請負材料費の増額。・既設管と地下埋設物が想定よりも近接していたため、既設管の撤去を一部をモルタル充填工法に変更したことによる、既設管撤去工費の減額。 <p>これらの理由により、建設工事請負契約書第18条第1項第4号に基づき精査した結果、第18条第4項第2号に該当すると認められるため、第18条第5項及び第24条の規定を適用し、増額変更とするものである</p>

年 度	令和3年度
工 事 番 号	第21000016号
工 事 名	屋形町1丁目～六番丁配水管改良工事
変更後の工事場所	和歌山市屋形町1丁目から6番丁地内まで
変更後の工事概要	布設替部 φ150mm DIP GX形 L595.6m 布設替部 φ100mm DIP GX形 L=844.1m 新設部 φ100mm DIP GX形 L=45.2m 消火栓設置工 4箇所 給水管切替工 149箇所 既設管撤去工 1式
変更の理由	<p>本工事において、設計変更となります。</p> <p>1 県道の歩道に布設予定でありましたが、埋設物が支障となり車道部に布設ルート変更になりました。夜間指定の工事範囲であり、夜間工事で布設及び舗装を行ったため、本管土工と舗装復旧費の増額。</p> <p>2 布設予定箇所に埋設物が支障となり、布設ルート変更を行ったため、本管土工と材料費の増額。</p> <p>3 地元調整の結果、舗装が一部夜間施工となり、舗装復旧費の増額。</p> <p>以上の事により工事金額の増額になりました。</p> <p>上記理由により、建設工事請負契約書第18条第1項第4号に基づき精査した結果、同契約書第18条第4項第2号に該当すると認められるため、第18条第5号及び第24条の規定を適用し増額変更とするものである</p>

年 度	令和3年度														
工 事 番 号	第21000037号														
工 事 名	杭ノ瀬川第2排水区支線工事														
変更後の工事場所															
変更後の工事概要	<table><tr><td>φ400mmVU管布設工</td><td>L=139.4m</td></tr><tr><td>φ450mmVU管布設工</td><td>L= 26.3m</td></tr><tr><td>φ600mmVU管布設工</td><td>L= 55.9m</td></tr><tr><td>マンホール工(2号-3、1号-6、0号-1)</td><td>10か所</td></tr><tr><td>取付管およびます工(雨水ます)</td><td>12か所</td></tr><tr><td>付帯工</td><td>1式</td></tr><tr><td>整備面積(雨水)</td><td>A=1.23ha</td></tr></table>	φ400mmVU管布設工	L=139.4m	φ450mmVU管布設工	L= 26.3m	φ600mmVU管布設工	L= 55.9m	マンホール工(2号-3、1号-6、0号-1)	10か所	取付管およびます工(雨水ます)	12か所	付帯工	1式	整備面積(雨水)	A=1.23ha
φ400mmVU管布設工	L=139.4m														
φ450mmVU管布設工	L= 26.3m														
φ600mmVU管布設工	L= 55.9m														
マンホール工(2号-3、1号-6、0号-1)	10か所														
取付管およびます工(雨水ます)	12か所														
付帯工	1式														
整備面積(雨水)	A=1.23ha														
変 更 の 理 由	本工事の管渠工において、掘削範囲に既設コンクリート版を確認し、撤去・処分費追加による増工。下流からの常時水位が高いことによる止水設備の追加による増工。														